

**CASBEE-建築(新築)2014年版**  
**【仮称】千早店舗付賃貸マンション 新築工事**

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版  
 ■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2014(v.3.0)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>2.9</b>
<b>Q1 室内環境</b>								<b>3.3</b>
<b>1 音環境</b>		<b>2.9</b>	0.15	<b>3.0</b>	1.00			<b>2.9</b>
1.1 騒音		3.0	0.50	3.0	0.50			
1.2 遮音		3.0	0.50	3.0	0.50			
1 開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	0.30			
2 界壁遮音性能		3.0	-	3.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20			
1.3 吸音		1.0	0.00	1.0	-			
<b>2 温熱環境</b>		<b>2.2</b>	0.35	<b>3.5</b>	1.00			<b>3.3</b>
2.1 室温制御		3.0	0.63	5.0	0.63			
1 室温		3.0	0.63	-	-			
2 外皮性能	日本住宅性能表示基準、断熱等性能等級4	3.0	0.37	5.0	1.00			
3 ゾーン別制御性		-	-	-	-			
2.2 湿度制御		-	-	-	-			
2.3 空調方式		1.0	0.38	1.0	0.38			
<b>3 光・視環境</b>		<b>2.3</b>	0.25	<b>3.5</b>	1.00			<b>3.3</b>
3.1 昼光利用		1.8	0.30	4.0	0.50			
1 昼光率	1.4%~10.0%	1.0	0.59	5.0	0.50			
2 方位別開口		-	-	3.0	0.30			
3 昼光利用設備		3.0	0.41	3.0	0.20			
3.2 グレア対策		2.0	0.29	3.0	0.50			
1 昼光制御		2.0	1.00	3.0	1.00			
3.3 照度		3.0	0.15	-	-			
3.4 照明制御		3.0	0.25	-	-			
<b>4 空気環境</b>		<b>2.9</b>	0.25	<b>3.6</b>	1.00			<b>3.5</b>
4.1 発生源対策		3.0	0.60	4.0	0.63			
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆の建材を採用	3.0	1.00	4.0	1.00			
2 アスベスト対策		-	-	-	-			
4.2 換気		3.0	0.40	3.0	0.38			
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33			
2 自然換気性能		3.0	-	3.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33			
4.3 運用管理		1.0	0.00	-	-			
1 CO <sub>2</sub> の監視		-	-	-	-			
2 喫煙の制御		1.0	1.00	-	-			
<b>Q2 サービス性能</b>		-	0.30	-	-			<b>3.3</b>
<b>1 機能性</b>		<b>2.4</b>	0.40	<b>4.2</b>	1.00			<b>3.9</b>
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	5.0	0.60			
1 広さ・収納性		3.0	-	3.0	-			
2 高度情報通信設備対応	100Mbitクラスのプロードバンド利用可能	3.0	-	5.0	1.00			
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-			
1.2 心理性・快適性		1.0	0.30	3.0	0.40			
1 広さ感・景観		3.0	0.01	3.0	0.50			
2 リフレッシュスペース		2.0	0.01	-	-			
3 内装計画		1.0	0.99	3.0	0.50			
1.3 維持管理		3.0	0.30	-	-			
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-			
3 衛生管理業務		-	-	-	-			
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>3.0</b>	0.30	-	-			<b>3.0</b>
2.1 耐震・免震		3.0	0.50	-	-			
1 耐震性		3.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.4	0.30	-	-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水:硬質塩化ビニール管(B) 排水:耐火二層管(B) E:不使用	5.0	0.20	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		4.0	0.20	-	-			

2.4 信頼性	1	空調・換気設備		2.6	0.20	-	-	
	2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
	3	電気設備		1.0	0.20	-	-	
	4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
	5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
<b>3 対応性・更新性</b>				<b>2.8</b>	0.30	<b>3.1</b>	1.00	<b>3.0</b>
3.1 空間のゆとり			階高:2.91m	<b>4.2</b>	0.01	<b>3.2</b>	0.50	
1	階高のゆとり			5.0	0.60	4.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ		3.0	0.40	2.0	0.40		
3.2 荷重のゆとり				<b>3.0</b>	0.01	<b>3.0</b>	0.50	
3.3 設備の更新性				<b>2.8</b>	0.99	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-		
2	給排水管の更新性		2.0	0.20	-	-		
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-		
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-		
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-		
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-		
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>				-	0.30	-	-	<b>2.1</b>
1 生物環境の保全と創出				1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮				3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				2.0	0.30	-	-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上				2.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上				2.0	0.50	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>				-	-	-	-	<b>3.3</b>
<b>LR1 エネルギー</b>				-	0.40	-	-	<b>3.6</b>
1 建物外皮の熱負荷抑制			日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4に相当	4.0	0.20	-	-	4.0
2 自然エネルギー利用				2.0	0.10	-	-	2.0
3 設備システムの高効率化			BEIm 非住宅 0.68 住宅(専有部) 0.89	4.1	0.50	-	-	4.1
集合住宅以外の評価(3a.3b)				4.0	0.02	-	-	
集合住宅の評価(3c)				4.1	0.98	-	-	
4 効率的運用				3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価				3.0	0.02	-	-	
4.1 モニタリング				-	-	-	-	
4.2 運用管理体制				3.0	1.00	-	-	
集合住宅の評価				3.0	0.98	-	-	
4.1 モニタリング				3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制				3.0	0.50	-	-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>				-	0.30	-	-	<b>3.0</b>
1 水資源保護				3.0	0.20	-	-	3.0
1.1 節水				3.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				3.0	0.60	-	-	3.0
2.1 材料使用量の削減				3.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			居室床下地に「パーティクルボード」を使用	3.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				3.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				3.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避				3.0	0.70	-	-	
1 消火剤				-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)				3.0	0.50	-	-	
3 冷媒				3.0	0.50	-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>				-	0.30	-	-	<b>3.2</b>
1 地球温暖化への配慮			標準計算による	5.0	0.33	-	-	5.0
2 地域環境への配慮				2.5	0.33	-	-	2.5
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善				2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.0	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減				-	-	-	-	
2 汚水処理負荷抑制				3.0	0.33	-	-	
3 交通負荷抑制				3.0	0.33	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制				3.0	0.33	-	-	
3 周辺環境への配慮				2.1	0.33	-	-	2.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	
1 騒音				3.0	1.00	-	-	
2 振動				-	-	-	-	
3 悪臭				-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				1.6	0.40	-	-	
1 風害の抑制				1.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制				1.0	-	-	-	
3 日照障害の抑制				3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制				1.6	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				1.0	0.70	-	-	
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30	-	-	